

福祉と
まちづくり

みた

第59号

令和4年1月1日

三田地区社会福祉協議会
三田地区町内会自治会連合会

謹賀新年

新年を迎え皆様の
御多幸をお祈り申し上げます

令和四年元旦



大坪彦兵衛の碑 (吉永)

年貢減免を実現した義民。慶応3年(1867)建立。盃状穴がある

三田地区社会福祉協議会
三田地区町内会自治会連合会

編集委員 一同



三田の文化・歴史 (その24)

写真提供 / 三田郷土史研究会

新年の挨拶



三田地区社会福祉協議会
会長 溝口 光明

新年あけましておめでとうございます。

三田地区の皆さんにおかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も一昨年に引き続き、世界の国々が新型コロナウイルスに振り回されてきました。現在日本は、少し落ち着いていますが、必ず第六波の感染拡大が訪れると思われれます。皆さんには自由に外出もできず、お互いのコミュニケーションも取れない不自由な生活がもう少し続くものと思われれます。一刻も早く治療薬が開発されて、以前の日常生活にもどれるように、皆さんと共に、お互いに助け合い、我慢しながらこの難局を乗り越えて行きますように。

社協では、従来のボランティア団体「三田よろずやワーク」を刷新し、皆さんの困りごとを解決すべき活動を行っていますので、是非電話等でご相談下さい。

最後に、今年は地区住民の皆さんが安全・安心で幸せな年であることを祈念いたします。

災害復旧工事の状況 令和3年11月現在



白木大橋下流左岸 (三日市集落)
ほぼ完成



市道(轟) (入野集落)
令和3年11月24日より通行可能



三日市集落下手左岸
写真左側着工済。右岸はほぼ完成



三日市橋上流左岸 (三日市集落)
令和4年3月末完成予定



入野集落下手
令和4年3月末完成予定



安駄橋 令和4年3月末完成予定

新たに着工した箇所 (令和3年11月現在)

- ・西川ゴム下流護岸工事 (吉永集落)
- ・轟橋架設工事
- ・三日市橋上流右岸 護岸工事
- ・三日市橋下流右岸 護岸工事 (上記2件入野集落)
- ・三日市集落下手 護岸工事
- ・八幡橋橋脚補強工事及び護岸修復工事 (鳥井原集落)
- ・古川集落 護岸工事

3月のタイヤ改正時には検討をするとの回答がありました。

昨年11月18日、JR西日本広島支社を訪問し、1,671名分の署名を渡しました。

3番列車復活の陳情



昨年10月28日に白木地区の会長4人で庄原を訪れ、「走らす会」のメンバーに歓迎を受けながら授与式に臨み、募金をお渡しました。

庄原市の住民有志が始めた「JR芸備線にカープ号を走らせる会」に賛同し、白木地区でもユアーズ白木店・ショージ白木店のご協力を得て、9月初旬より10月中旬まで「たる募金」を行い、地元住民の熱い想いの結晶が26万7,515円の募金となりました。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

たる募金

芸備線にカープ号を!

民生委員・児童委員活動内容/町内会自治会の紹介

いよいよは。民生委員・児童委員です。

三田地区の総世帯は1,328、人口は2,730人(2,05人/世帯)となっております。ちなみに安佐北区全域を調べてみると、総世帯65,935に対して、人口141,412人(2,14人/世帯)です。この数字から、三田だけに限らず安佐北区全域では、一人から二人暮らしの世帯が多くなっていることがよく分かります。

いつでも誰でも、日々の暮らしが孤立化しかなない環境の下にある三田地区ですが、民生委員・児童委員は、高齢者や障がい者、子育て中の保護者など、様々な方たちからの相談を受け、行政機関や包括支援センターと一体になってサポートを行っています。また、定期的に小学校や保育園と交流を行いながら、児童や生徒の日常も見守っています。

そうした私たちの活動の中で、いちばん懸念しているのは、身の回りの高齢化が顕著になっていること。昨今は「自助・公助・互助・共助」という言葉をよく聞くようになりまし。このスローガンを民生委員・児童委員の活動に当てはめ、地域の誰もが住み慣れた所で生活を維持できることをコンセプトに、日頃の包括的な情報共有を図ることも役割のひとつであると考えています。

日常生活でお困りの方、不安のある方、寄り添いながら一緒に考えましよう。どうぞ私たちに声をかけてください。



※総世帯・人口の各数字は、昨年9月末の広島市発表より。

下海戸町内会

会長 久保田 榮

下海戸は、現在15戸の町内会です。町内会では毎年の行事として初寄り・観音様の祭りおよび山ノ神祭事(新嘗祭)などの昔から続く行事を行っています。また、集落のほとんどの家が農業をされており、協力して、鹿・猪による被害防止のため金網柵を設置するなど、熱心に農業に取り組んでおられます。集落内では、今年度から本格的に、3年前に発生した西日本豪雨災害の復旧工事として三篠川の下海戸橋下流の川幅拡張及び土堤の延長工事が始まっています。完成すれば、川沿いの家屋あるいは田への浸水被害が防げ、安心して生活が出来るようになりますと期待しています。これから高齢化が進む中、今までどおりの町内会活動では対応できなくなるものが予想されます。皆さんと一緒にどうすべきかを考えて行きたいと思いま



柳瀬町内会

会長 新宅 政好

昔から「三田三里」といい、柳瀬町内会はその南末端・高陽町との境に位置しています。春には花見、秋には鎮守の礼祭り、年末には報恩講・忘年会も開催していました。しかし50年前には17軒あった家軒数が、今では7軒。高齢化による人手不足により、やむなく規模縮小となりながらも、可能な限り季節行事を行っています。

また、西日本豪雨による水害の影響を受けた地域でもあります。自然との共生の難しさや脅威にも直面しましたが、2年後には三篠川下流鉄橋付近に管理道路が造設されることとなり、安心安全の地域づくりが進められています。

柳瀬集会所には「相互扶助」と書かれた掛軸があります。

この言葉をしっかりと心に留め、新たに樹木も芽吹き花咲くことを楽しみにしながら、地域の方と、多くの自然と共に、豊かに暮らしていきたいと思いま



サロンの紹介

いきいきサロン弥谷

代表 渡邊 礼一

令和2年9月に始めた2年目のサロンです。これまで70歳で届いていたポイント手帳が65歳となった年でした。年上の方に昨年は何ポイントと聞いてみると30ポイント以下がほとんどでした。遠くに出かけられない高齢者は広島市のポイント活動に参加できません。なんとかこの集落でも、近くで安価で気軽に筋力を維持し、ポイントを貯めることはできないものかと、サロンを立上げ、始めのが朝のラジオ体操です。

小さな集落です。10人前後が朝のラジオ体操をやっています。寒くなると休止、暑くなると1週間休みますか」と融通を利かせています。「きのうはこんかつたねえ」「若いけえ、寝坊したんよ」毎月第四木曜日にはサロンを集会所で開いています。一昨年はコロナで毎月は出来ませんでした。紙芝居、しめなわ飾り作り、ゲームなどをやってきました。



昨年末からは、月四回の百歳体操を重点にしたいと始めました。無理をしないで筋力を維持し、ポイントを貯める。これをモットーに。

林町内会百歳体操クラブ

代表 樋口 豊

介護予防効果が実証されているという百歳体操をきっかけにし、みんな家から出て動いたり話したりする機会を増やそうと令和2年1月にスタートしました。

継続は「健康維持なり」ということで、新型コロナの感染拡大でお休みしたとき以外は毎週木曜日に毎回15名程度が参加して楽しみながら意欲的に体を動かしています。



現在は市の補助金や社協の助成金で、体操に必要な折りたたみ椅子など必要な機材や消毒液購入など行い、長く活動できるように環境整備をしております。

今は百歳体操のみ実施していますが、アフターコロナでは地域包括支援センターなどからサポートをいただき、閉じこもりや認知症予防にも効果がある取り組み、みんなが興味を持って参加できる催しにも挑戦してみたいと思っています。

ボランティア団体 三田よろずやワーク

掃除・買い物・草刈り・樹木の伐採などお困りの時は「三田よろずやワーク」に連絡ください。皆さんのお悩みを解決し、楽しい日常生活を支援致します。

【連絡先】

三田よろずやワーク

事務所開設(三田集会所内)

毎週月曜日 9:30~11:30開設

電話番号 090-2808-4648

愛の灯



「厚志に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。三田地区社会福祉協議会へ昨年6月から11月の間に、つきの方々から、香典返しの一部として、多額の寄付を賜りました。当会発展のために役立たせていただきます。ご厚志に対して、厚くお礼を申し上げます。」

7月	林 榎 口 恵 様
8月	吉永 今中 文雄 様
	吉永 脇坂 由起子 様
10月	吉永 兒玉 尚志 様
	河原 山本 宏 様
	福永 榎崎 則明 様

編集委員(50音順)

有田 俊信 上野 道雄
 久保田 榮 杉本 千夏
 西川 徳幸 樋口 豊
 舩岡 等 松本 開人
 溝口 光明 山田 俊喜
 山本 鋼治 渡邊 礼一